



令和2年度はコロナによる臨時休業からスタートしました。学校運営協議会の活動も、書面による決議で始まり、主催事業は変更や中止が相次ぎました。しかし「コロナ禍であっても学びは止めない」の精神のもと、地域校外学習、運動会、地域防災学習を行うことができました。

2月17日には第3回学校運営協議会を開催し、学校から学習や生活状況の報告を受け、主催事業についても次年度につなぐ成果や課題について協議したところです。

西紀小学校の教育活動の成果については、次頁の「令和2年度の西紀小学校（学力・生活）を振り返り来年度へ」をご覧ください。来年度も、西紀っ子の学びを有意義に地域・保護者で進めていけるよう、学校運営協議会で取り組んでまいります。

今年度最終のコミュニティ・スクールだよりNo.3は、中止になった1月15日の「地域防災訓練」を学校ではどのように変更して「防災学習」として進めたか、お知らせします。

◇ 今年は「地域防災家庭学習」に・・・ ◇

計画では地区ごとに親子で「土砂災害」について、インターネットの内閣府動画で学習し、その後下校しながら通学路の「警戒区域」「特別警戒区域」等、危険箇所を確認したり、いざという時の迂回路などをフィールドワークする予定でした。

中止になった今回は、「土砂災害」の学習は学年毎に行い、フィールドワークは「地域防災家庭学習」として、各ご家庭でお世話になることにしました。おいそがしい中、各ご家庭で積極的なご協力をいただき、「避難場所・家族の集合場所・家族の連絡先や連絡を取る方法・困ったときSOSできる人・連絡ができない時どうするか・危険な所・家族の約束」などを、右の「わが家の災害・避難シート」にまとめていただきました。

◇家族の約束から…是非参考にしてください！

- ・メモをテーブル・ポストなどに残して行動する。
- ・各々の**家族カード**を持ち、避難するときはテーブルにカードを置く。
- ・家族の**災害時のスローガン**
 - ①あわてない ②あきらめない ③後ろを向かない(前向きに！)
- ・**災害用伝言ダイヤル**を使い、①どこにいるか、②体は大丈夫か、③誰がいるかを言う。
- ・公衆電話が使えるように、**30円**持って出かける。
- ・避難場所から勝手に移動しない。周りの大人の言うことを聞いて、うろろろせずにいる。**家族が迎えにくるまで待つ。**
- ・決めた場所以外に行かない。
- ・通学路に農業用水路や橋が多いので、一人で行動(避難)しないで、**大人と行動する。手をつなぐ。**
- ・水害の時は、体育館横の溝が山から流れてくる水であふれることもあるので、**近づかない。**
- ・一人でいて危ないと感じたら、**高い所(2階)へ**
- ・避難所へ避難したら、**知っている人の近く**にいる。
- ・家に近くて道が安全なら自宅、近いなら学校に行く。
- ・**つなみてんでんこ** (自分の命は自分で守る・もどらない)
- ・自分の身は自分で守る。一人で**避難**する。
- ・同じ地区の人、支所、駐在所、郵便局、お店に**助けを求め**る。
- ・避難場所に行けない時は、**〇〇さんの家**に行く。



来年度は、このカードやハザードマップをもとに今年度の計画したようにフィールドワークを行い、シートの内容をよりよく改善するための交流ができたかと考えております。

◇ 令和2年度の西紀小学校（学力・生活）をふり返し、来年度へ ◇

10月に「学校中間評価」としてとられた「西紀小学校の教育に関するアンケート」に続いて、3学期はじめに再度アンケートを行い、来年度の教育活動に生かします。

アンケート結果を、肯定的な評価の全体に占める％で90％以上を◎、60～89％を○、60％未満を△として、簡潔に表しています。

子どもは中間と同じくどの項目もほぼ90％前後の高評価です。前期と比較して内訳を見ると、「どちらかと言えばあてはまる」が「あてはまる」になっていた項目が多く、喜んでいます。

しかし残る10％未満は何らかの困り感があります。来年度に向けて改善に取り組みます。

	No.	アンケート内容	子ども	保護者	来年度に向けて
自分づくり	1	学校や家で進んで学習しているか	◎	○	学び続ける自分をつくるために、与えられた「勉強」ではなく「自ら学ぶ」ことを大切に 来年も自主学習や予習の取組を進めます。
	2	漢字や計算などの基礎学力が身についているか	◎	○	
	3	思ったことや考えたことを話しているか	○	◎	
	4	ノートをていねいに書いているか	○	○	
	5	「腰骨」を立てるように意識しているか	○	△	
自学ぶ分びる	6	ふるさとを愛する心が育っているか	◎	○	ふるさと西紀の人・歴史・自然などに学んだことを自分の未来に生かす子に育てます。
	7	自分の夢や目標に向かって努力しているか	○	○	
	8	自分からあいさつをしているか	○	○	
自分づくり	9	毎日楽しく学校に通っているか	◎	◎	小人数ならではのきめ細やかさを生かしながら、手は離しても目は離さない取組を地域・保護者の皆様と進めます。
	10	人権意識が育っているか	◎	◎	
	11	進んで運動をしているか	◎	○	
	12	学校からの情報で学校の様子がわかるか	◎	◎	

No.3「思ったことや考えたことを話しているか」は、保護者の評価が12%下がりました。

内訳を見ると、「あてはまる」が21％から40％と倍になっていますが、「ややあてはまらない」も8％から19％に増えました。

はっきりと考えを言える子が増えた反面、言っていないかも…という子も増えたということです。

考えて話すことも、**聞いて考える**ことも大切です。友達関係だけでなく、様々な場面で自分の思いや考えを伝え合い、学びを深める子を育てます。



No.5「腰骨を立てるように意識しているか」は、保護者の評価が14%上がりました。

相変わらず△の腰骨ですが、「ややあてはまる」が21％から41％に倍増しました。

授業では腰骨を立てて集中して取り組んでいる子ども達です。

ご家庭でも「これはおもしろい！」と集中して勉強しているときには、**腰骨が立っていたのかも**かもしれませんね。

心を落ち着かせる呼吸法も学んだので、是非活かしてほしいものです。



No.12「学校からの情報で学校の様子がわかるか」は、子どもの評価が9%上がりました。

子どもには「学校だよりや学級通信を家の人に忘れずに渡して見てもらっていますか」と尋ねました。「あまりあてはまらない」が0になり、「あてはまる」が52％から67％にふえました。コロナ関係の文書も多くあり、大切なお知らせを家に届ける必要性を感じたのでしょう。

今後も、学校での**子ども達の情報**をどのように**家庭・地域に伝え**、逆に**家庭や地域での子ども達の様子**を**伺うか**、考えていきます。

